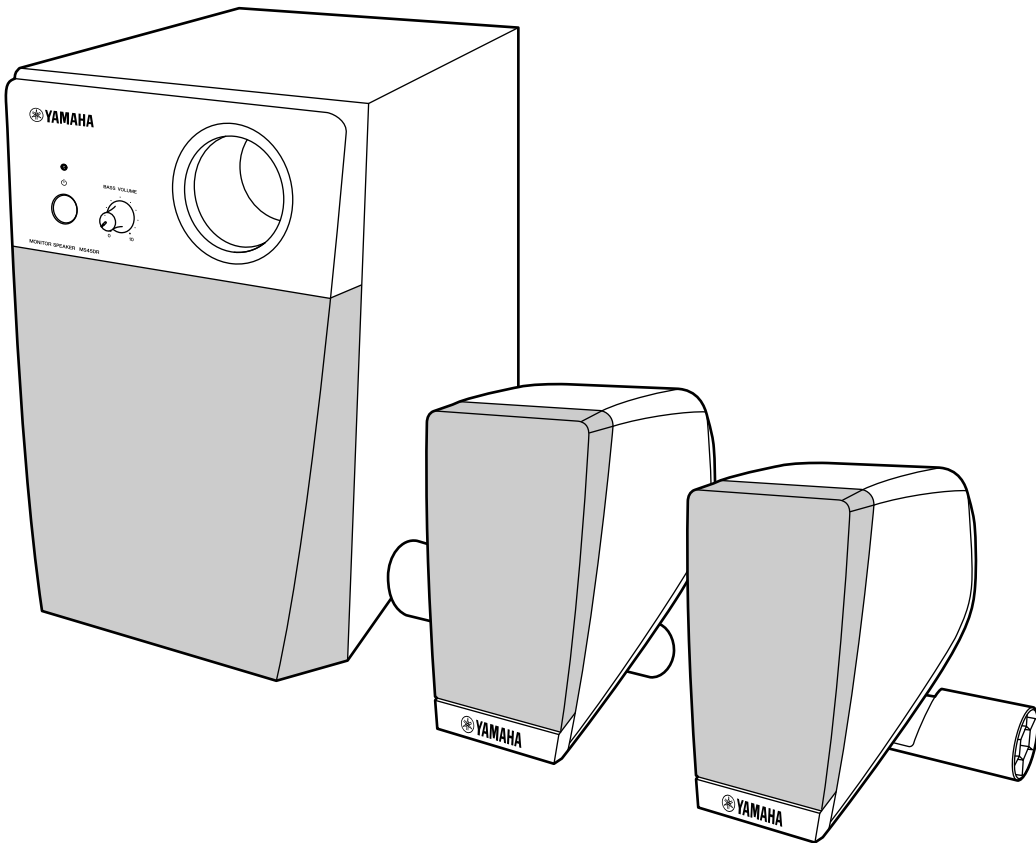




MONITOR SPEAKER
MONITOR SPEAKER
SYSTÈME D'ÉCOUTE
SISTEMA DE MONIÇÃO
监听音箱
모니터 스피커
モニタースピーカー

MS45DR

Owner's Manual
Bedienungsanleitung
Mode d'emploi
Manual do Proprietário
使用说明书
사용설명서
取扱説明書



English

Deutsch

Français

Português

中文

한국어

日本語

EN
DE
FR
PT
ZH
KO
JA

安全上のご注意




ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。


■ 記号表示について


この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	～しないでくださいという「禁止」を示します。
	「必ず実行」してくださいという強制を示します。

■ 「警告」と「注意」について

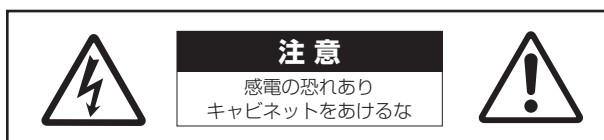
以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。

 警告	この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
--	---

 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。
--	--

■ 本製品に表示されている注意マークについて

本製品には、次の注意マークが付いています。



これは、以下の内容の注意を喚起するものです。

「感電防止のため、パネルやキャビネットを外さないでください。内部には、お客様が修理 / 交換できる部品はありません。点検や修理は、必ずお買い上げの販売店または巻末の修理ご相談センターにご依頼ください。」



警告

電源/電源コード



電源コードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものをのせない。電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。

禁止



電源は必ず交流 100V を使用する。エアコンの電源など交流 200V のものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。

必ず実行



電源コード/プラグは、必ず付属のものを使用する。また、付属の電源コードをほかの製品に使用しない。

必ず実行

故障、発熱、火災などの原因になります。



電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。

感電やショートのおそれがあります。

必ず実行

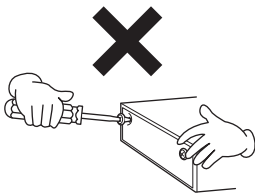
分解禁止



この製品の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、けが、または故障の原因になります。

禁止



水に注意



本製品の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。また、浴室や雨天時の屋外など湿気が多いところで使用しない。

禁止

内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの販売店または巻末の修理ご相談センターに点検をご依頼ください。



禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電のおそれがあります。

火に注意



禁止

本製品の上にもうそくなど火気のあるものを置かない。

ろうそくなどが倒れたりして、火災の原因になります。

異常に気づいたら



必ず実行

下記のような異常が発生した場合、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。

- ・電源コード/プラグがいたんだ場合
- ・製品から異常なおいや煙が出た場合
- ・製品の内部に異物が入った場合
- ・使用中に音が出なくなつた場合

そのまま使用を続けると、感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店または巻末の修理ご相談センターに点検をご依頼ください。

⚠ 注意

電源/電源コード



たこ足配線をしない。
音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱して火災の原因になることがあります。

禁止



電源プラグを差し込んだとき、ゆるみがあるコンセントを使用しない。
火災、感電、やけどの原因になります。

禁止



電源プラグは、コンセントに根元まで、確実に差し込む。

差し込みが不十分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積したりして火災ややけどの原因になります。

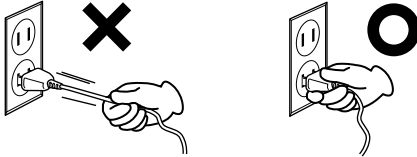
必ず実行



電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。

電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。

必ず実行



長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

感電や火災、故障の原因になることがあります。

必ず実行

組み立て



本書の組み立て方の説明をよく読み、手順どおりに組み立てる。

手順どおりに正しく組み立てないと、楽器が破損したりお客様がけがをしたりする原因になります。

必ず実行



設置後は必ず安全性を確認する。定期的に安全点検を実施する。

落下や転倒して、けがをする可能性があります。

必ず実行

設置



不安定な場所に置かない。
本製品が転倒して故障したり、お客様やほかの方々へのけがをしたりする原因になります。

禁止



風通しの悪い狭いところに押し込めたりしない。

換気が十分でないと、本製品内部に熱がこもり、故障や火災の原因になることがあります。

禁止



本製品を移動するときは、必ず電源コードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行なう。

コードをいためたり、お客様やほかの方々転倒したりするおそれがあります。

必ず実行



この製品を電源コンセントの近くに設置する。

電源プラグに容易に手が届く位置に設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源スイッチを切った状態でも微電流が流れています。この製品を長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

必ず実行



指定された仕様のラックを使用する。また、本製品付属のパイプランプを必ず使用する。

本製品が転倒、落下したり、本製品やラックを傷つけたりする原因になります。取り付け可能なラックの仕様については、3ページを参照ください。

必ず実行

接続



すべての機器の電源を切った上で、ほかの機器と接続する。また、電源を入れたり切ったりする前に、機器のボリュームを最小にする。

感電、聴力障害または機器の損傷の原因になります。

必ず実行



演奏を始める前に機器のボリュームを最小にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げて、適切な音量にする。

聴力障害または機器の損傷の原因になります。

必ず実行

取り扱い



本製品のすき間に手や指を入れない。
お客様がけがをするおそれがあります。

禁止



パネルのすき間から金属や紙片などの異物を入れない。
感電、ショート、火災、故障や動作不良の原因になることがあります。

禁止



本製品の上ののったり重いものをのせたりしない。また、スイッチやノブ、入出力端子などに無理な力を加えない。

禁止

本製品が破損したり、お客様やほかの方々がかげがしたりする原因になります。



大きな音量で長時間本製品を使用しない。
聴力障害または機器の損傷の原因になります。

禁止

- データが破損したり失われたりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。
- 不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

使用後は、必ず電源を切りましょう。

[Ⓛ](スタンバイ/オン)スイッチを切った状態(電源ランプが消えている)でも微電流が流れています。[Ⓛ](スタンバイ/オン)スイッチが切れているときの消費電力は、最小限の値で設計されています。この製品を長時間使用しないときは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

ご注意(ご使用上の注意)

製品の故障、損傷や誤動作、データの損失を防ぐため、以下の内容をお守りください。

■製品の取り扱いに関する注意

- ・テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しないでください。本製品またはテレビやラジオなどに雑音が生じる原因になります。また、本製品の近くでスマートフォンやタブレット端末などのスマートデバイスを使用する場合は、スマートデバイスの機内モードをオンにすることをおすすめします。
- ・直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなる場所、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところで使用しないでください。本製品のパネルが変形したり、内部の部品が故障したり、動作が不安定になったりする原因になります。
- ・本製品上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かないでください。本製品のパネルが変色/変質する原因になります。

■製品のお手入れに関する注意

- ・手入れするときは、乾いた柔らかい布をご使用ください。ベンジンやシンナー、アルコール、洗剤、化学ぞうきんなどを使用すると、変色/変質する原因になりますので、使用しないでください。
- ・本製品のほこりや汚れは、柔らかい布で軽く拭き取ってください。強く拭くと、ほこりの粒子で本製品の表面に傷がつく場合があります。
- ・極端に温湿度が変化すると、本製品表面に水滴がつく(結露する)ことがあります。水滴をそのまま放置すると、内部が水分を吸収して変形する原因になります。水滴がついた場合は、柔らかい布ですぐに拭きとってください。

■取扱説明書の記載内容に関するお知らせ

- ・この取扱説明書に掲載されているイラストは、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。
- ・その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

この製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

機種名(品番)、製造番号(シリアルナンバー)、電源条件などの情報は、製品のリアパネルにある銘板または銘板付近に表示されています。製品を紛失した場合などでもご自身のものを特定していただけるよう、機種名と製造番号については以下の欄にご記入のうえ、大切に保管していただくことをお勧めします。

機種名

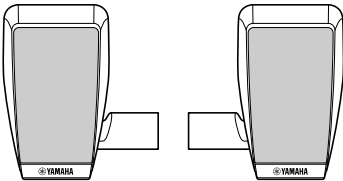
製造番号

(rear_ja_02)

このたびはヤマハモニタースピーカー MS45DRをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。お使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、安全に正しくお使いいただきますようお願い申し上げます。

同梱品 (お確かめください)

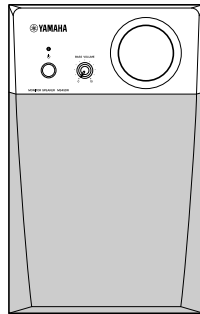
● サテライトスピーカー×2



● パイプランプ×2

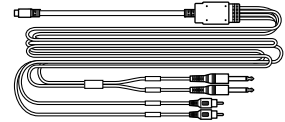


● サブウーファー×1



- 電源コード
- 取扱説明書 (本書)

● ケーブル (Mini DIN 8ピン+フォン+RCAピン) × 1



● ケーブルバンド×1

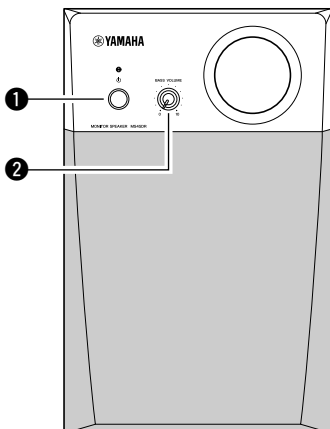


ケーブルが演奏の妨げにならないよう、付属のケーブルバンドを使用し、必要に応じて固定してください。特にペダルなどにケーブルが巻き込まれないようにご注意ください。

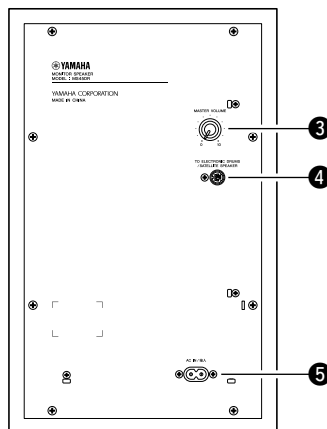
各部の名称と機能

● サブウーファー

[前面]



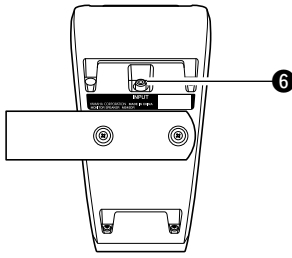
[背面]



- ① [⏻] (スタンバイ/オン) スイッチ
電源のスタンバイ (■) (インジケータ消灯) とオン (■) (インジケータ点灯) を切り替えます。
- ② [BASS VOLUME] コントロール
サブウーファースの音量を調節します。時計方向に回すと音量が大きくなり、反対方向で小さくなります。
- ③ [MASTER VOLUME] (マスターボリューム)
全体の音量を調節します。時計方向に回すと音量が大きくなり、反対方向で小さくなります。
- ④ [TO ELECTRONIC DRUMS / SATELLITE SPEAKER] 端子
サブウーファースをサテライトスピーカーや音源モジュールと接続するための端子です。
- ⑤ [AC IN] 端子
付属の電源コードを接続します。

● サテライトスピーカー

[背面]



⑥ [INPUT] 端子

サテライトスピーカーをサブウーファーと接続するための端子です。

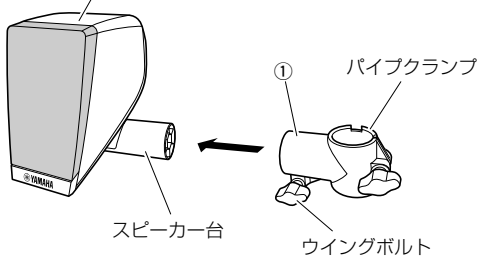
取り付け方法

⚠ 注意

MS45DRのサテライトスピーカーは、1.5インチ(38.1ミリメートル)径でストレートの縦パイプに取り付けてお使いください。外径サイズが異なるものやカーブしているパイプには取り付けられません。

1. パイプクランプの穴①に、サテライトスピーカーのスピーカー台を差し込み、ウイングボルトを締めて固定します。

サテライトスピーカー



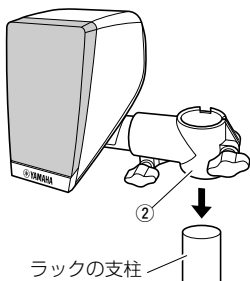
2. 図Aのように、パイプクランプの穴②にラックをゆっくりと通します。位置が決まったら図Bのようにウイングボルトでねじを締めて固定します。

⚠ 注意

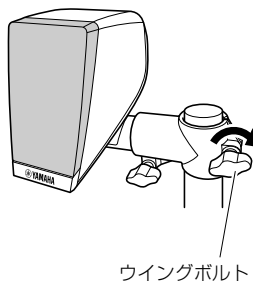
サテライトスピーカーをラックに取り付けるときは、ゆっくりと行なってください。パイプクランプとラックの間に手をはさんでけがをするおそれがあります。

NOTE 各ウイングボルトは強く締め付けてください。

[図A]



[図B]



3. 図Cをご覧ください。サブウーファーを平らな床に置きます。

4. 図Cの標準的な接続例にしたがって、サテライトスピーカー、サブウーファー、音源モジュールを付属のケーブルで接続します。

⚠ 警告

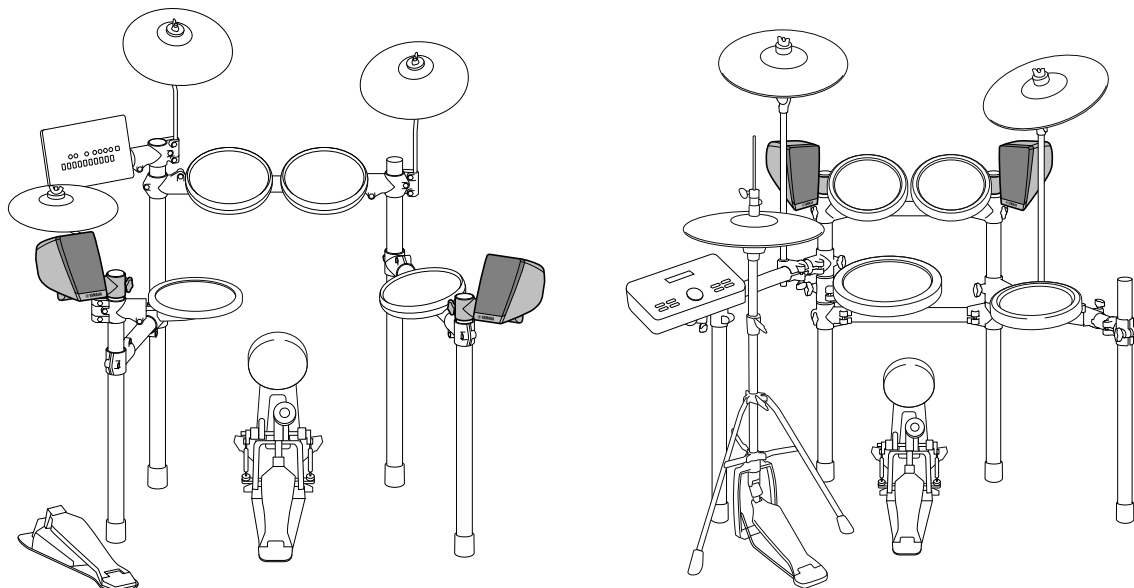
電源コードは、必ず付属のものをご使用ください。また、付属の電源コードをほかの製品に使用しないでください。故障、発熱、火災などの原因になります。

⚠ 注意

本体はコンセントの近くに設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

その他の取り付け例

サテライトスピーカーの取り付け位置は必要に応じて変えられます。



5. 電源コードをサブウーファースの[AC IN]端子に接続します。

6. 電源プラグを家庭用(AC100V)コンセントに接続します。

NOTE 電源コードを外すときは、電源を切ってから、逆の手順で行なってください。

電源を入れる、切る

⚠ 注意

電源を切った状態でも微電流が流れています。本製品を長時間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。

電源を入れる

1. サブウーファースの[MAIN VOLUME](メインボリューム)コントロールと音源モジュールの音量を最小にします。
2. 音源モジュールの電源を入れます。
3. サブウーファースの[⏻](スタンバイ/オン)スイッチを押して電源を入れます。
4. パッドを叩いて音量を確かめながら、サブウーファースの[MAIN VOLUME](メインボリューム)コントロールと音源モジュールの音量を徐々に上げます。

電源を切る

1. サブウーファースの[MAIN VOLUME](メインボリューム)コントロールと音源モジュールの音量を最小にします。
2. サブウーファースの[⏻](スタンバイ/オン)スイッチを押して電源を切ります。
3. 音源モジュールの電源を切ります。

困ったときは

音が出ない。	電源プラグが差し込まれていませんか？	電源プラグを、家庭用コンセント(AC100V)に確実に差し込んでください。
	[⏻](スタンバイ/オン)スイッチがOFFになっていませんか？	[⏻](スタンバイ/オン)スイッチをONにしてください。
	ケーブルは正しく接続されていますか？	<ul style="list-style-type: none"> ケーブルが正しく接続されているか、確認してください。 必ず付属のケーブルをお使いください。
	音量が下がっていませんか？	<ul style="list-style-type: none"> [MASTER VOLUME]を時計方向へ回して音量を上げてください。 [BASS VOLUME]を時計方向へ回してサブウーファアの音量を上げてください。 音源モジュールの音量を上げてください。
音が歪む。	音量が上がっていませんか？	<ul style="list-style-type: none"> [MASTER VOLUME]を反時計方向へ回して音量を下げてください。 [BASS VOLUME]を反時計方向へ回してウーファアの音量を下げてください。 音源モジュールの音量を下げてください。
	音源モジュールのマスター EQの低音域が上がっていませんか？	音源モジュールのマスター EQ低音域を下げてください。設定方法は音源モジュールの取扱説明書をご覧ください。
音が途切れる	音量が上がっていませんか？	楽器本体やサブウーファアの音量を下げてください。
雑音が発生する。	ケーブルは正しく接続されていますか？	ケーブルが正しく接続されているか、確認してください。必ず付属のケーブルをお使いください。
電源をオン/オフするときに音が出る。	サブウーファアの電源を入れてから、音源モジュールの電源を入れていませんか？	先に音源モジュールの電源を入れてから、サブウーファアの電源を入れてください。

仕様

出力	サテライトスピーカー	20 W + 20 W (2 kHz、4 Ω)
	サブウーファア	20 W (60 Hz、8 Ω)
再生周波数帯域	サテライト/ サブウーファア	40-20000 Hz (-10 dB)
スピーカーユニット	サテライトスピーカー	ツイーター：2 cm (0.8") ドーム型 (5 Ω) ミドルレンジ：8 cm (3") コーン型 (4.5 Ω)
	サブウーファア	16 cm (6.5") コーン型 (8 Ω)
定格消費電力	24 W	
定格電源電圧	100-240 V ~、50/60 Hz	
寸法 (幅×高さ×奥行き)	サテライトスピーカー	110×183×138 mm 取り付け部分含まず
	サブウーファア	221×351×343 mm
質量	サテライトスピーカー	1.0 kg×2
	サブウーファア	6.5 kg
付属品	パイプクランプ*× 2、ケーブル(Mini DIN 8 ピン+ フォーン+ RCAピン) × 1、ケーブルバンド × 1、電源コード × 1、取扱説明書(本書) × 1 * パイプ径が1.5インチ(38.1 mm)のラックに取り付け可能	

本書は、発行時点での最新仕様で説明しています。最新版は、ヤマハウェブサイトからダウンロードできます。

最新の取扱説明書は、下記URL からダウンロードできます。サポートサイトから「取扱説明書」をクリックし、製品名(品番)を入力して検索してください。

Yamaha Downloads <https://download.yamaha.com/>

MEMO

■ユーザーサポートサービスのご案内

ユーザー登録のお願い

弊社では、ユーザーの方々をサポートし、関連情報をご提供するために、本製品をご購入いただいたお客様にユーザー登録をお願いしております。

ユーザー登録手続きは、下記ウェブサイトよりお願いします。

ヤマハ電子ドラム製品ウェブサイト

<https://jp.yamaha.com/dtx/>

* ユーザー登録には、製品本体のシリアル番号(SER No.)が必要になります。

* ご登録いただいた「ご住所」、「お名前」、「メールアドレス」などを変更された場合は、上記ウェブサイトよりお手続きください。

◆製品の仕様や取り扱いに関するお問い合わせ

お買い上げの販売店、または下記のお客様コミュニケーションセンターにご連絡ください。

お客様コミュニケーションセンター ギター・ドラムご相談窓口

フリーダイヤル



0120-143-808

携帯電話、IP電話からは

050-3852-4093

受付 月曜日～金曜日 10:00～17:00 (祝日、センター指定休日を除く)

ヤマハ サポート・お問い合わせ

<https://jp.yamaha.com/support/>

ヤマハ楽器音響製品お客様サポート
LINE公式アカウント

ヤマハ電子ドラム製品ウェブサイト



ヤマハ株式会社

〒430-8650 静岡県浜松市中央区中沢町10-1

※名称、住所、電話番号、営業時間、URLなどは変更になる場合があります。

■保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、または修理ご相談センターにご連絡ください。

● 保証書

本機には保証書がついています。
保証書は販売店がお渡しますので、必ず「販売店印・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

● 保証期間

保証書をご覧ください。

● 保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。
有寿命部品については、使用時間や使用環境などにより劣化しやすいため、消耗劣化に応じて部品の交換が必要となります。有寿命部品の交換は、お買い上げ店または修理ご相談センターへご相談ください。

有寿命部品の例

ボリュームコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点、ドラムパットなど

● 補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

● 持込み修理のお願い

まず本書の「困ったときは」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。
それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、または最寄りの修理品お持ち込み窓口へ本機をご持参ください。

● 製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

◆ 修理に関するお問い合わせ

お買い上げの販売店、または下記の修理ご相談センターにご連絡ください。

※ 修理をご依頼いただくときは、製品名、品番などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

修理ご相談センター

フリーダイヤル



0120-149-808

携帯電話、IP電話からは

050-3852-4106

受付 月曜日～金曜日 10:00～17:00 (祝日、センター指定休日を除く)

FAX

- 東日本(北海道/東北/関東/甲信越/東海): 03-5762-2125
- 西日本(北陸/近畿/中国/四国/九州/沖縄): 06-6649-9340

◆ 修理品お持ち込み窓口

受付 月曜日～金曜日 10:00～17:00 (祝日、センター指定休日を除く)

※お電話は、修理ご相談センターでお受けします。

● 東日本サービスセンター

〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1 JMT京浜E棟A-5F
FAX 03-5762-2125

● 西日本サービスセンター

〒556-0011 大阪市浪速区難波中1丁目13-17 ナンバ辻本ビル7F
FAX 06-6649-9340

持込修理

保証書

品名	モニタースピーカー		
品番	MS45DR		
※シリアル番号			
保証期間	本体	お買上げの日から1年間	
※お買上げ日	年 月 日		
お客様	□□□-□□□□		
	ご住所		
	お名前		
	電話 ()		

ご販売店様へ ※印欄は必ずご記入ください。

本書は、本書記載内容で無償修理を行なう事をお約束するものです。
 お買上げの日から上記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上お買上げの販売店に修理をご依頼ください。
 この保証書にご記入いただきましたお客様のお名前、ご住所などの情報は、保証規定に基づく無料修理に関する場合のみ使用いたします。

(詳細は下項をご覧ください)

※販売店	店名	印
	所在地	
	電話 ()	

株式会社ヤマハミュージックジャパン

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい5丁目1番2号 横浜シンフォステージ ウエストタワー 8F

保証規定

- 保証期間中、正常な使用状態(取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態)で故障した場合には、無償修理を致します。
 - 保証期間内に故障して無償修理をお受けになる場合は、商品と本書をご持参ご提示のうえ、お買上げ販売店にご依頼ください。
 - ご贈答品、ご転居後の修理についてお買上げの販売店にご依頼できない場合には、最寄りの※修理ご相談センターにお問合わせください。
 - 保証期間内でも次の場合は有料となります。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書にお買上げの年月日、お客様、お買上げの販売店の記入がない場合、及び本書の字句を書き替えられた場合。
 - 使用上の誤り、他の機器から受けた障害または不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - お買上げ後の移動、輸送、落下などによる故障及び損傷。
 - 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧などによる故障及び損傷。
 - お客様のご要望により出張修理を行なう場合の出張料金。
 - この保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
 - この保証書は再発行致しかねますので大切に保管してください。
- ※ この保証書は本書に示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買上げの販売店、※修理ご相談センターにお問合わせください。
- ※ ヤマハ株式会社の連絡窓口その他につきましては、本取扱説明書をご参照ください。

MEMO



VHA0730

Yamaha Global Site
<https://www.yamaha.com/>
Yamaha Downloads
<https://download.yamaha.com/>

© 2019 Yamaha Corporation
Published 02/2025
2025年2月 发行
IPOE-C0

VHA0730